

北海道身体障害者新聞

発行人
一般社団法人
北海道身体障害者福祉協会
会長 田中 利和
札幌市中央区北2条西7丁目(かでる2-7)
電話 011-251-1551
FAX 011-251-0858
北海道障害者社会参加推進センター
電話 011-251-9302
隔月 25日発行
会員購読料(年) 90円
(会費を含む)
非会員 同 2,000円

令和8年度 事務局長・事務担当者会議

令和8年8月6日(木)、道民活動センタービルにおいて、開催しました。



道内の身障協会の事務担当者が集まります。

はじめに、田中会長の代理として、大橋副会長から開会の挨拶があり、続いて、令和8年度の北身協実施事業等について、事務局より説明を行いました。

また、今年度は実施事業の中から「盲ろう者通訳・介助員派遣事業」に関して、各団体の皆様の理解啓発を図るため、NPO法人札幌盲ろう者福祉協会の富樫眞弓会長の講師に迎え、演題「盲ろう者を知ってください」ということで講演を実施しました。



とがし 富樫会長(中央)と、たかつ 高津事務局長(右)

障害当事者である富樫会長に、ご自身の障害の経緯、「盲ろう」という障害について、必要な支援希望することなどについて、お話しいただきました。

盲ろう者は、見えない・見えにくい・聞こえない・聞こえにくいなど、症状はさまざまです。そのため、コミュニケーション方法も個々の当事者に応じたものとなります。そのひとつでもある「手書き文字」というコミュニケーション方法について、参加者同士で体験してみる時間もありました。

簡単に「手書き文字」というのも実際に体験することで、向き・速さ・強さなど難しさも感じられたようで、会場からは活発な発言や感想などの声が聞かれました。

盲ろう者の支援を行う通訳・介助員は、その言葉のとおり通訳と介助を行う役割を担います。

この日、富樫会長も通訳・介助員と一緒に過ごしてくださいました。



支援を行う
通訳・介助員(左)

周知度の低い「盲ろう者」という言葉や障害を知っていただくとともに、必要な支援などを理解していただき、お気持ちを寄せていただけたらと思います。

みなさまへ

どこかにいるであろう盲ろう者をさがしています。
一人で社会に出ることはできません。
家族や知り合いの協力をもらって、
私たちは出会えることが多いです。
皆さんの周りに盲ろう者がいたら、
是非、ご連絡ください。



※ 目と耳の両方に障害のある方を「盲ろう者」といいます。
盲ろう者とは、障害区分において「盲ろう」という障害種別がないこともあり、あまり知られていない障害です。

根室地区身体障がい者福祉協会 「令和8年度研修交流会」

6月25日(木)～26日(金)、斜里町にて、根室地区身体障がい者福祉協会(加藤強会長)の「令和8年度研修交流会」を開催しました。参加者は21名で、外出の機会が少なくなった会員の皆さんにとって、とても楽しみにされている事業です。



世界自然遺産のある知床で
学びを深めます。

今年の研修は、斜里町にある知床自然センターの施設見学及び映像鑑賞で、北海道最大級の巨大スクリーンと4K映像・5.1サウンドで知床の大自然を体感し、身近な問題でもある生活圏で増加しているヒグマの出没を例として野生動物と人間の共生の難しさ、不幸な事故を避けるため、現場で奮闘する人々やより良い解決のために知恵を絞る人々の苦悩を知ることができました。



おなかも、こころも、満たされました。

その後、ウトロ温泉知床第一ホテルに移動し、自由交流後の夕食では約80種類のバイキング食べ放題を堪能し、おなかいっぱいになったところで会場を移し交流会を行いました。交流会では、カラオケ・ビンゴ大会・ろう者による紙芝居披露と盛りだくさんの内容で、大変盛り上がりしました。



ろうの方が、紙芝居を披露してくれました。

特に紙芝居は、感動的な内容も相まって、とてもあたたかい気持ちになりました。

最後は参加者全員で知床旅情を合唱し、交流会の幕を閉じました。翌日、ホテルを出発する際は、「今度は10月のスポーツ交流会で会いましょう。」と声を掛け合い、ケガや事故もなく無事それぞれの町への帰路につきました。

檜山地区身体障害者協会 「会員研修会」

令和8年7月28日(火)、上ノ国町(カミゴンのいる町)「ジョイじゅら」に26名の皆さんが集まり、会員研修会を行いました。



口の動きを鍛える勉強会です。

今年は、江差協会が退会し、3町での集まりになりました。

阿部喜美夫会長曰く、「悲観してばかりでは前に進めない、現状を打破できなくても、継続することとできる。手を取り合って今を進もう!」という言葉に参加者一同勇気づけられました。

まずは、勉強会。健康第一「知って防ごう!オーラルフレイル!」をテーマに、美味しく食べる口、おしゃべりの口、よく笑う口。朽ちることなく口の動きを鍛えました。



大人気の競技「モルック」

次は「モルック」です。会員をごちゃまぜにして4チームをつくり、リーグ戦で行いました。会員は休む暇なく、モルックを持ち、スキットルをねらい、放り投げていました。各チーム即席なのですが、なんと皆さんの上手なこと、見事50点にする会員や1点多くなり25点へ戻るチームあり。和気あいあいで大きな歓声が上がっていました。

北見身体障害者福祉協会 障がい者経木教室

「経木教室に申し込んでみたけど経木っていったい何なんだろう？」と言いながら会場に入ってきた会員さん。それを聞いた他の会員さんが「私も詳しいことわからないけど参加してみたよ。」と、笑い声から始まりました。

6月17日(水) 北見市総合福祉会館で、佐藤理緒氏を講師にお迎えし、経木教室を開催しました。まず「経木」について、日本伝統の包装材で、身近なところでは、たこ焼きなどの容器として馴染みがあるものという説明がありました。



指先を使っの細かい作業

今回は、経木を使ってデューフューザー(オーナメント)を作りました。作業は繊細で、どのように扱えばいいのかわかりませんが、講師の丁寧な指導のおかげで、何とか最後まで取り組むことが出来ました。全員同じものを作ったのですが、木目や色合いが異なるため同じものがひとつとしてないことに面白さを感じました。



指先を使っの細かい作業

昨年の「脳活折り紙教室」の時、「ちよつと私には出来ないかも」という声がありました。今回も、老眼と付き合ひながら苦戦した教室でした。短い時間でしたが、経木の香り、経木の手触り、触れているだけで心が落ち着く。そんな時間を過ごすことができました。



できあがった作品

釧路地区身体障害者福祉協会 白糠分会

研修交流会

6月26日(金)、道の駅しらぬか恋問館で開催され、会員16名が参加しました。

恋問館には、海鮮丼や豚丼、お蕎麦や鹿バーガーなどメニューが豊富で、みんなでおいしいものを食べ、売店では、産直の野菜や海の幸を買いました。

日頃、外に出る機会の少ない会員のみさんから「このような研修交流会はとても楽しい。」との声が聞かれました。



恋問館で楽しいひととき

石田正義会長は「恋問館は、車椅子利用者をはじめ、障がいのある方でも利用しやすい施設です。会員同士の交流を深め、互いに支え合いながら今後も元気に活動していきたいと思います。」と会員に呼びかけました。

名物のタコ足すべり台の前で記念写真を撮り、帰り道には、ハマナス・エゾカンゾウ・アヤメなどを眺めながら景色を楽しみ、途中、霧で太平洋が遠くまで見渡すことができなかったことが唯一残念ではありましたが、楽しい時間を過ごすことができました。

約2時間にわたり交流を深めた研修交流会でした。

市・地区・町村協会からの 記事をお待ちしています。

各地域の福祉活動・スポーツ活動・研修会・講習会等の様子や独自の取り組みなど「北海道身体障害者新聞」に掲載させていただきます。みなさまからの記事の投稿をお待ちしております。写真も添付していただくと助かります。



まず、基本操作を学びます。

障がい者パソコン教室 砂川身体障害者福祉協会

令和8年7月14日(火)15日(水)、砂川市地域交流センターにて、平澤日出夫氏を講師にお迎えし、障がい者パソコン教室を開催しました。

久しぶりにパソコンに触れる方もいて、パソコンの基本操作を確認しながら、インターネットの使い方や、画像の取り込み方や活用方法などを学びました。

それぞれ気に入った画像やデザインをプリントし、オリジナルのTシャツを作りました。実用的な作品の出来上がりに、大変満足の様子でした。

賛助会員の皆様へ 心より感謝申し上げます。

「障害者の福祉の向上に寄与する」という本協会の趣旨にご賛同いただき、ありがとうございます。

- ◆ 社会福祉法人 北海道宏栄社様
- ◆ 株式会社 田村義肢製作所様
- ◆ 株式会社 馬場義肢製作所様
- ◆ 岩崎電子株式会社様
- ◆ 社会福祉法人 厚生協会様
- ◆ 株式会社 札幌義肢製作所様
- ◆ NPO法人 砂川つばさ様
- ◆ 社会福祉法人 旭川健育会様
- ◆ 社会福祉法人 旭川美景園様
- ◆ 社会福祉法人 北海道拓明興社様
- ◆ 社会福祉法人 北海道光生舎様
- ◆ 日本身体障害者団体連合会様
- ◆ 社会福祉法人 北海道博愛舎様
- ◆ 社会福祉法人 岩見沢義肢様
- ◆ 社会福祉法人 更葉園様
- ◆ 株式会社 つうけん様
- ◆ 株式会社 ドーコン様
- ◆ NPO法人 ホップ様
- ◆ 障害者地域生活支援センター様

(令和8年8月末日迄分)

一般社団法人日本義肢協会会員

株式会社
札幌義肢製作所
代表取締役 関 喬
札幌市中央区北五条西十二丁目六
電話代表(〇一一)四一〇九八六番

有限会社
野坂義肢製作所
札幌市中央区南三条東四丁目
電話(〇一一)二二二一四〇六番

株式会社
馬場義肢製作所
札幌市東区南一条西五丁目
電話(〇一一)七四一〇二六番
札幌市東区南一条西五丁目
電話(〇一一)七四一〇二六番
札幌市東区南一条西五丁目
電話(〇一一)七四一〇二六番

株式会社
田村義肢製作所
札幌市中央区北四条東五丁目
電話(〇一一)〇〇七〇七〇番
帯広市大通南十五丁目二番地
電話(〇一一)五五七七一四八九番

帯広支店

安心と笑顔で全道をネットする
認定補聴器専門店
岩崎電子 補聴器センター
本店 札幌市中央区南二条西三丁目 南栄カド
札幌駅前店 札幌市中央区北三条西二丁目 札幌H・SビルB
新札幌店 札幌市厚別区厚別中央一丁目 六丁目
手稲店 札幌市手稲区前田一丁目 十二丁目
元町店 札幌市東区北二条東六丁目 十丁目
旭川店 旭川市宮下通九丁目 きたノビルB
函館店 函館市杉並町五丁目 〇カガビル
苫小牧店 苫小牧市東町五丁目 五丁目
室蘭店 室蘭市中央三丁目 五丁目
お問合わせ 0120-231-282
札幌市中央区南二条西三丁目 南栄カド
岩崎電子株式会社

公益財団法人 **北海道対がん協会**

会長 加藤 元嗣

事務局・札幌がん検診センター
札幌市東区北26条東14丁目1-15
電話011(748)5511

旭川がん検診センター
旭川市本広東2条6丁目6番10号
電話0166(53)7111

釧路がん検診センター
釧路市愛国東2丁目3番1号
電話0154(337)3370

バッグの製作・修理等・革製品等
お困りの方はご相談ください

NPO法人
砂川つばさ

砂川市東五条南四丁目二二二
FAX 電話(〇一一)二二五二八五
FAX 電話(〇一一)二二五二八五

HOP
ホップ障害者地域生活支援センター
札幌市東区北十四条東十四丁目二五 光生ビル
TEL 〇一一七四八六二二〇
FAX 〇一一七四八六二二〇

- ◆ 障害者支援施設
- ◆ 障害福祉サービス事業所
- ◆ 特別養護老人ホーム
- ◆ 障害児通所支援事業
- ◆ 救護施設 他

施設利用、見学等をご希望の方は
お気軽にご連絡下さい

社会福祉法人
北海道光生舎

079-1135
赤平市錦町2丁目6番地
TEL 0125-32-3221

社会福祉法人
北海道宏栄社

〒047-0011 小樽市天神2丁目8番2号
電話 〇一一三三二二二二
FAX 〇一一三三二二二二

有限会社
岩見沢義肢

岩見沢市緑が丘四丁目二二二 四六
電話代表(〇一一)二二二二 五五〇番